

キリストの架け橋

発行責任者：宝田 豊 yutakara@gmail.com

対外伝道ニュースレター

2018年1-3月 Vol.19

～苦しみを好機に～

先日、西川悟平さんというピアニストのことが報道されていました。彼は、25歳でジストニアにかかり、最初はすべての指が全く動かなくなったそうです。しかし、リハビリで何とか7本の指が使えるようになり、今はその7本の指を使ってピアノの演奏活動をしています。そんな彼の演奏は、多くの人に感動を与えていると語られていました。その彼が、自分の病気について「僕にとってこの手の病気は“ギフト”だと思っていて、一音一音どんなきれいな音がだせるか可能性を追求していく喜びを教えてください」、また「神様が与えてくれた試練が実は大きなギフトだったと気が付き始めた」と話していました。

わたしは知り合いのいない徳山の地で脳梗塞になった後、健康維持のため通い始めたスポーツジムで、さまざまな人との出会いが与えられ、現在では、単なる健康維持のためのトレーニングの場から、新たな人々との出会いの場となっています。今年も、18歳になる高校3年生の女子が仲間に加わってきました。

彼女は、15歳の時に当時19歳だったお兄さんを交通事故で亡くしています。今でも、交通事故を目にすると、お兄さんのことを思い出して苦しいと言っていました。その彼女が、作文を通して、次のように語っています。

私は「交通事故」という言葉を避けていました。しかし、いつまでも逃げてはいけません。私の将来の夢は救急救命士です。幼い頃からずっと医療系の仕事に就きたいと思っていましたが、兄が亡くなった後、更にその気持ちが強くなりました。誰よりも先に現場に行き、たくさんの人の命をつなぐ救急救命士の仕事を通して、私は命に真剣に向き合いたいと考えています。救急救命士は、色々な現場へ駆けつけなければなりません。また、助ける事ができないことも少なくないと言いました。辛いことの多い仕事ですが、命を救う仕事を通して、私は兄の死から逃げることなく、きちんと受け止めて成長していけるような気がします。私は全身全霊をかけて仕事に取り組む、そんな救急救命士になりたいです。

度合に違いはあっても、誰の人生にも辛いことはあります。しかし、その辛い経験から、目をそむけず、しっかりと向き合っていく時、未来に対する確かな方向性と生きる意欲を得ることが出来るのではないのでしょうか。わたしもクリスチャンになった直後は、腰の痛みが癒されるように必死で祈りました。しかし、結果は変わりませんでした。それからしばらくして、第二コリント12章8節から“神の恵みは、わたしの弱いところにごそ十分に与えられる”ことを知り、実は、腰の故障は、わたしにとって神の恵みだったと知らされました。このことを通して、わたしの人生は、大きく変わり、神に信頼して生きる人生へと変換させられたのです。今も、この神に信頼して、無謀とも言われる新たな宣教の歩みを続けています。

神が、彼を信じる者のすべてを益として下さるお方であることを知っています。ですから、信仰に生きる者は、苦しみや辛い経験を好機と捉え、神の力を信じて歩み出してはいかたがでしょうか。神は、そんなあなたの人生をきつと勝利へと導いて下さると確信しています。

なぜなら、このしばらくの軽い患難は働いて、永遠の重い栄光を、あふれるばかりにわたしたちに得させるからである。わたしたちは、見えるものではなく、見えないものに目を注ぐ。見えるものは一時的であり、みえないものは永遠につづくのである。 第二コリント 4章17-18節



どうということもないススキですが、向こうから光が当たると、美しく輝きます。このようにキリストの光に照り出されて、世の中に神の栄光を輝かして歩むのがクリスチャンであり、神の教会です。

徳山バプテスト教会

連絡先: tokuyamabc@gmail.com

12月より近くの周南市文化会館の一室を借りて、日曜礼拝を守っています。

祈りのリクエスト

- + 徳山バプテスト教会の必要経費の備え
- + 教会員の霊的成長と魂の救い
- + 地域の人々に福音が浸透するように
- + 被災地伝道
- + 宣教活動経費が備えられるよう
- + テキサス州内伝道拠点を買って【ダラス、アビリーン、コーパスコープ、サンアントニオ、ヒューストン】
- + 御国バイブルフェロシッブ（ヒューストン）の上原牧師の働きと教会の成長
- + ガーディナートーランスバプテスト日本語教会（ロサンゼルス）の成長と牧師が与えられるように

主な行事予定(2018年04-06月)

毎月 ロサンゼルスでの協力伝道開始

04月08日 奈良キリスト教会

04月30日 中四国連盟年次総会

05月06日 札幌東聖書バプテスト教会

06月10日 志村バプテスト教会

*ここには、日本での徳山以外の特別な奉仕内容が掲載されています。

ロスでの臨時牧会開始

1月よりロスにあるガーディナートーランス日本語バプテスト教会での臨時牧師としての働きが始まりました。時間的なこともあり、日本からダラスに木曜日に戻り、次の日にサンアントニオへ移動、土曜日の昼の集会を終えた足でダラスの飛行場まで戻り、その日の夜の便でロスへ飛ぶといったスケジュールで始まりました。

最初の礼拝には14名の方が出席されました。礼拝後、教会員の皆さんと今年一年の歩みについて話し合い、わたしがお手伝いできるのは月一度ですが、その時に主の晩餐を執り行うことになりました。

広島教会の祈禱会出席

徳山での水曜祈禱会がなくなったこともあり、広島教会の朝の祈禱会に出席させていただきました。広島教会の朝の祈禱会には24~5名の方が出席されていたと思われますが、活発な祈禱会が持たれていました。

祈禱会が終わると、Costcoにパンなどを取りに車で向かいました。ここでは、こうしたパンを町のホームレスの方々に配給されているようで、わたしも運搬のお手伝いをさせていただきました。

教会へ戻ると、荷物を下ろして播磨先生と教会の隣にあるお好み屋で昼食を頂きました。そのお店の店主は、元自衛官だと話してくださいました。その方に教会の紹介をさせていただきました。

有明キリスト教会の早天祈禱会

二月になって長男が出張で熊本にある本社に來たので、共に食事をするため、わたしは、車で熊本へ向かいました。

次の朝、有明キリスト教会の早天祈禱会に出席させていただきました。ここは田中先生先生の教会で、先生ご夫妻は神学校卒業後の一年を、ダラスの教会で奉仕くださったこともあり、長く親しくさせて頂いていました。

祈禱会は、ご夫妻だけではありましたが、熱心に伝道に勤しんでおられるお二人の姿に触れて、嬉しく思いました。この時に今年の9月30日の日曜日に伝道集会でのお話のご依頼をいただき、喜んでご奉仕させていただき旨をお伝えして、徳山に戻りました。

この日は、まだ大雪の影響があり、3時間で戻れるところ、高速（八女・福岡間）が一部閉鎖されていたこともあり、8時間かけて徳山に戻るようになってしまいました。

2018年は国際線の飛行機代がこれまで以上に高額になりました。トヨタのアメリカ本社がダラス郊外にやってきたことが理由かは分かりませんが、今年はいくらでも以上に飛行機代との葛藤が避けられないようです。

そんな中、今年も神様の守りを信じて宣教を継続していきたいと願っています。ご支援を宜しく願いいたします。心から感謝いたしております。皆さんの上に神様の祝福をお祈りしています。

支援金は、下記住所までご送金をお願いいたします。

Japanese Baptist Church of North Texas
For Takarada Fund
6040 Alpha Rd. Dallas, Texas 75240

ジムの仲間と誕生日

スポーツジムで一つ年下の男性と知り合い、Power Teamを作成、現在13名が仲間になって共に汗を流しています。その彼とわたしの誕生日が10日違いということもあり、今年と一緒に誕生日祝いを持つことになりました。彼の奥様と伯母さんがレストランを予約して下さい、そのお店のオーナーも含めて楽しい時間を持たせていただきました。



これからもいろいろな人がわたしたちの仲間に加わってくるでしょう。彼との出会いから多くの異なる職種の人とも知り合い、みんなわたしが牧師であることを知っていることもあり、先には、何かきっと神様がことを起こしてくださると期待しています。

室蘭キリスト教会

今年も室蘭にあるバプテスト教会を訪問させていただきました。今年の北海道は雪深く、牧師が空港まで迎えに来ていただきました。

今回の礼拝には、インドネシアからの留学生三人が出席していましたが、こうした外国人の存在は、日本の教会に良い影響を与えてくれると感じました。それは、彼らの明るさであり人懐っこさです。彼らの笑顔が、教会全体の雰囲気明るくしてくれていると感じました。



日語連盟牧師会

三月に全米南部バプテスト日本語教会の牧師会が、ロサンゼルスで開催されました。今回は、ホテルから徒歩で行けるバプテスト連合系の日本語教会を会場にもたれました。

ハワイの渡辺先生が博士号を取得、その論文から共に学ぶ時間を与えられました。また、教会の日本語部の牧師である大里先生からその教会に赴任したころのお話を伺うなどして、学びがもたれました。



わたしは、2月に誕生日を迎え、Medicareの手続きを済ませました。これでアメリカで病気をした時にも、わずかでも医療費の負担をして頂けるようになりました。感謝！



経費内訳 2018年1月~3月 (¥106/\$)

2017年9月までの収支	-8,408.58
入金 (1-3月)	
支援金総額	8,100.98
経費 (1-3月)	
国際線+日本の国内線	7,900.62
日本の経費合計 (治療費含む)	4,614.95
徳山バプテスト教会支援金	188.68
経費合計 (1-3月)	12,704.25
収支合計 (1-3月)	-4,603.97
次期への繰越金	-13,012.55